

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市名瀬地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

・高齢化率の上昇に伴い、高齢者世帯や独居高齢者が増加傾向にある名瀬地域の中で、地域包括ケアの益々の推進に向けて、地域に開かれたケアプラザとして周知される様な取り組みを行いました。

・地域のボランティア団体の担い手が高齢化し、新たな担い手づくりが必要な為、「とつかハートプラン地区別計画」の一環として、地域と協働して、新たなボランティアの担い手づくりの取り組みを行いました。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

・高齢者に限らず、障がいや子どもに関する相談を受け、記録を取り、ナンバリング管理をした台帳にて、情報共有しています。

・区役所や、生活支援センター、戸塚エコー等と連携し、個別対応を行いました。

・個別対応や、情報共有が必要なケースについては、区役所や、病院、障害者事業拠点等に連絡し、ケアプラザ内でも検討し、連携して取り組みました。

(3) 各事業の連携

・5職種で毎月1回必ずミーティングを開催し、区報、ケアプラザだよりの掲載内容確認を共同で行い、部署内の動きや事業報告、「地域ケア会議」や「元気づくりステーション」、「協議体」等の内容伝達や検討を重ねました。

・地域の4カ所にあるミニデイサービスや高齢者食事会等にケアプラザ職員が月替わりで参加して情報共有し、地域との交流を図りました。

・5職種が「地域ケア会議」の内容検討から打ち合せを重ね、協働で個別ケースの地域ケア会議を開催し、地域課題について検討しました。

・「名瀬地域ケアプラザだよりの」を毎月1回発行し、各部門からの情報発信や、自主事業案内を掲載して、地域に情報提供を行いました。

・「ハートプラン推進委員会」に所長・生活支援・地域交流コーディネーターが出席し、ケアプラザとしての見解を一致させるため打ち合せを行い、会議に参加しました。また、必要な情報を各部門に展開し、情報共有を図りました。

・法人の地域貢献の一環として取り組んできた「水中運動教室」「きらめき健康体操教室」を特別養護老人ホーム太陽の國と連携して開催しました。今後も法人の地域貢献事業として、「買い物支援」を協働で計画しています。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

・研修のお知らせ通知等は、所内で回覧し、受講が必要な職員には所長、各所属長から参加の声かけを行い、積極的に参加してスキルアップを図りました。

・外部研修に参加する時は、シフトを調整するなど、部門内で協力体制を整えました。また参加した研修の伝達研修を行うなど、職員全体で内容を周知しました。

・ケアプラザ職員でテーマごとに研修担当者を決め、合計6回の所内研修を実施し（食中毒・感染予防・個人情報・接遇・倫理及び法令遵守・認知症等）、ケアプラザ職員全体のスキルアップに努めました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

・「とつかハートプラン地区別計画」の取り組みとして、「安心・安全、福祉のまち♡名瀬」を実現するために地域の方と連携し、子育てから高齢者までの各世代で行っている活動、行事を共有しました。名瀬の里山の自然散策や自然を活かした活動を行い、地域の買い物支援について検討しました。

・各町内会、自治会、名瀬地区社会福祉協議会、ボランティア連絡会、ボランティア団体、保育園、小・中学校等の行事に参加し、一緒に活動を行う中で、情報交換を行い、顔の見える関係作りに努めました。

・関連団体と事業を共催し（青少年指導員と異世代間交流イベント）、役割分担をしながら連携して地域福祉に取り組みました。

・「子育て連絡会」を年3回開催し、民児協、区役所、区社協、子育て拠点、保育園、子育て支援者と情報共有し、ニーズ把握や地域課題の抽出、研修を行いました。

・小さな困りごとボランティア「サポート隊名瀬」の事務局として、後方支援を継続して行いました。

・担当地区の全みまもりネット協力事業所を訪問して活動状況を聞き取り、みまもりネット検討プロジェクトや連絡会にて区役所や他のケアプラザと情報共有しました。

(6) 区行政との協働

・名瀬地区ハートプラン推進委員会の地域連携チームとして、区役所、地区社協等と連携し、委員会や打ち合わせを通じて連携を密に行いながら取り組みました。

・「名瀬地区子育て連絡会」を年3回開催し、区役所・地域子育て支援拠点と事務局を担い、子育て支援者の活動報告と、課題の共有を行い、連携して取り組みました。また、名瀬町の子育て情報を集約した案内を更新し、地域へ配布しました。

・「ほっとタイム」、「赤ちゃん教室」は区役所、地域支援者と地域住民との情報共有の場としての機能的な役割を果たしました。

・毎月各専門職連絡会に出席し、区役所・区社会福祉協議会等と情報交換を行い、各分野で情報の共有と連携を図りました。

・福祉教育の一環として、区社協、東戸塚地域ケアプラザと、秋葉中学校1年生向けに高齢者疑似体験を担当し行いました。名瀬中学校でも2月に行いました。

- ・みまもりネットプロジェクトや連絡会に出席し、区役所と協働で地域のみまもり体制について検討しました。
- ・区役所と協働で「元気づくりステーション」を立ち上げ、自主活動後も後方支援しました。
- ・多問題・虐待・成年後見支援等の権利擁護事例について、区や専門家と協働して対応しました。
- ・区役所と協働して認知症をテーマに個別地域ケア会議、小地域ケア会議を開催しました。
- ・区役所・区社協と協働して、地域ケア会議から抽出された「認知症」についての課題をテーマに「協議体」を開催しました。
- ・区役所と協働して新人・就労予定ケアマネジャー研修や居宅主任ケアマネジャー研修を開催しました。
- ・11包括と区役所と協働で成年後見サポートネットを開催して知識を深め、担当地域での事例に役立てました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

・事業計画書を作成し、さらに事業ごとに企画書を作成し、各部門の事業を開催しました。

① 高齢者

- ・歌声セルフ喫茶 14回
- ・みつこのカラオケ120% 12回
- ・リズム体操 2回
- ・よこはまシニアボランティアポイント認定研修会 1回

② 子育て

- ・リトミックバンビ 11回
- ・ママサロン 24回
- ・おやこヨガ教室 12回
- ・文化教室 1回
- ・クリスマス会 1回
- ・食育 1回

③ 障がい

- ・お困りごと相談会 1回
- ・精神障害者活動支援事業 1回
(講演会)

④ 地域

- ・リズム体操 2回
- ・シネマカフェ 2回
- ・能楽イベント 1回

- ・クリスマスコンサート 1回
- ・おやし達のたまり場 3回
- ・アートギャラリー 14回

・各事業でアンケートを行い、単発事業もその都度アンケートを行いました。参加者のニーズ把握と事業の改善を図り、よりよい事業が行えるように取り組みました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

・貸館利用団体が予約しやすいよう、玄関に貸室の空き情報が当月・次月先まで一目でわかるようにボードを設置し、マグネットの色を変え、見やすいように掲示しました。また、ケアプラザの広報誌に貸館利用団体の予定を掲載し、部屋の空き状況も確認できるようにしました。

・地域の方や貸館利用団体で、絵手紙や書道、手芸等の活動を行っている方の披露の場として、アートギャラリーとしての場所の提供を行い多くの来館者に見ていただく事ができ、新規参加希望にも繋げています。2階デイサービスに演奏団体のボランティアを紹介しました。

・利用希望の部屋が埋まっても、利用人数によって壁を可動させて、多くの団体が利用できるように配慮しながら運営しました。

・「貸館利用団体交流会」を1月に開催し、各団体の活動紹介を行い、団体同士の情報交換と交流、ケアプラザからの情報提供を行いました。

・夜間の利用率を上げるため、連合町内会等の会合や、行事で利用してもらえるように働きかけてきました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

・ボランティア登録者の名簿管理を行い、ボランティアの質の向上として、研修のお知らせを配布し、情報提供を行いました。

・小さな困りごとボランティア「サポート隊名瀬」の事務局として、ボランティア依頼の調整と定例会の開催支援を行いました。

・区社協、市社協、区民活動センターとボランティアの受入れ依頼や情報共有等を行い、希望するボランティア活動につなげるなどの調整を行いました。

・ボランティアの育成支援として、「シニアボランティアポイント登録研修会」を開催し、啓発活動を行いました。

・子育てボランティア、デイサービスボランティアを活動につなげ、具体的な事業展開に向けて、企画を検討しています。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

・地域の会合やイベントなどへ積極的に参加し、また、地域の方へケアプラザの広報を行うとともに、地域等のニーズ把握や情報交換を積極的に行い、各機関と連携を図りました。

・各貸館団体の活動内容をまとめ、掲示と閲覧できるようにし、来館者情報提供を行いました。また、会が継続できるように、貸館利用団体の参加者募集の後方支援等を行いました。

・「貸館利用団体交流会」を1月に開催し、団体の活動紹介や情報交換、交流の場を設け、地域資源のつながりづくりをしました。

・毎月の広報紙や戸塚区報に、自主事業の情報を掲載し、情報発信しました。また、子育て拠点のメルマガにも自主事業等の情報を掲載し、広く情報を発信しました。

・区役所こども家庭支援課、高齢支援課、事業企画から提供のあったデータを所内で情報共有し、自主事業企画時等に活用しました。

・連合町内会、地区社協、地域のミニデイサービス、ボランティア団体等の活動や行事、人材を情報収集し、地域の方や関係機関に提供しました。

・ホームページを見直し、情報が伝わりやすいよう写真等を掲載し、内容の充実を図りました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

・所長と5職種で毎月会議を開催し、地域情報や課題を共有し、「認知症になっても住みやすい名瀬町にするためには」をテーマに協議体や生活支援・居場所づくりについて検討し、居宅・通所介護を含めたケアプラザ全体で協力して事業を開催しました。

・毎月開催される2層CO連絡会に参加し・区役所・区社協・他のケアプラザからの情報を共有し、5職種間でも共有しました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

・地区懇談会や老人クラブ、介護予防教室や地域包括支援センターと情報共有した個別相談から、高齢者の生活課題やニーズを把握しました。

・地域主体のミニデイサービス・サロン・助け合いグループ・配食サービスや生活支援サービス等の現状を聞き取り、地域活動・サービスリストにまとめました。

(3) 連携・協議の場

・昨年度第1町内会で開催した地域ケア会議の課題を引き継ぎ、「認知症になっても住みやすい町にするためには」をテーマに協議体を4回開催し、世代を超えた交流イベント「かいぞう広場」のプレ開催につなげました。

・民生委員やボランティアからの相談を受け、「桜カフェひとやすみ」の立ち上げのための連携・協議の場をつくり、6月から地域のお寺での毎月開催につなげました。

・買い物困難高齢者を対象にした買い物移動支援について、送迎車の利用など法人と連携しながら、名瀬地区ハートプラン推進委員会・買い物移動支援検討部会と連動して連携・協議しました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

・毎月開催される区の2層CO連絡会で、区役所・区社協・他の地域のケアプラザで共通するテーマ（居場所づくり・買い物支援）について情報共有し、広域の地域課題として認識しました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

・民児協・地区社協・自治会・保健活動推進員など地域の組織との連携を密にし、相談支援が早い段階で開始できるよう努めました。

・地域の医療機関との連携を密にし、円滑な相談支援ができるようプロジェクトを立ち上げて検討を始めました。

② 実態把握

・各種統計資料から地域の情報を収集し、会合などで地域に発信する中で住民の意識を聞く機会を作りました。

・各種会合や、ケアプラザに来所された高齢者などから、地域のニーズやインフォーマルサービスを把握し、情報共有しました。

③ 総合相談支援

・総合相談票を台帳で管理し、随時ミーティングを行うことで、包括内での情報共有を徹底しました。

・月1回、区と包括で定例カンファレンスを開催し、新規ケースや、継続ケースについての報告や情報共有を行い、常に協力して支援にあたりました。

・毎月60～110件の相談に対応しました。（新規：5～10件、継続：50～110件）

・相談について、訪問では月10～30件、電話では月60～110件対応しました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

・成年後見制度の普及活動として、区役所・区社協・弁護士・行政書士・司法書士・社会福祉士等による情報交換会を、5月・9月・1月に社会福祉士連絡会において開催しました。

・催眠商法により生活に支障が出ていた認知症高齢者を、区・包括・居宅・地域の協力で良い方向に支援できました。

・地域の集まりや、介護者のつどい等で、消費生活センターの最新情報等をお伝えし、被害防止の啓発を行いました。

・相談ケースに対して、区役所とともに成年後見申し立ての支援を行い、本人の権利を守ることができました。

・法テラスの地方協議会へ参加し、特定援助対象者法律相談援助の啓発を、地域のケアマネジャーに行いました。

② 高齢者虐待への対応

・高齢者虐待防止の取り組みとして、毎月第4火曜日に「介護者のつどい」を、プラザ内にて開催し、4～10名が介護の悩みや思いを、気軽に話し合う時間を持ちました。また、ケアプラザ内の各部門の職員と協力し、近隣の農園への果物狩りや、レコード鑑賞とコーヒーを嗜みながら話をしたりするなど、来ることを楽しみにしてもらえりような運営を行いました。総合相談からつながった方や、チラシをみて参加を決めた方など、少しずつ新しい参加者が増えてきました。

③ 認知症

・「認知症になっても住みやすい名瀬町にするために」をテーマに地域ケア会議を開催しました。

・「認知症サポーター養成講座」を認知症当事者家族の実体験を盛り込み、第1町内会で開催しました。

・認知症について、地域の集まりや元気づくりステーションで意見交換をし、認知症高齢者への理解と対応について周知を図りました。

・「みまもりネット」登録事業者へ訪問し、聞き取りなどを通して、関係づくりに努めました。

・徘徊の心配がある認知症高齢者を「みつけてネット」登録につなぎました。
現在登録者21名(うち今年度新規3名)。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ケアマネサロン名瀬を3か月に1回開催。「医療と介護の連携」をテーマに2回実施。講話やグループワークにて情報提供を行い、連携を支援しました。
- ・地域の高齢者サロンに参加して、介護保険制度の説明やその他の社会資源等の情報提供を行いました。

② 医療・介護の連携推進支援

- ・ケアマネサロン名瀬にてケアマネジャーのスキルアップとして事例検討会を行い様々な視点で利用者への理解を深め、今後の支援を検討しました。
- ・医療連携を図るために「ほーめっと」の総会に参加し「再認識、おむつの当て方、使い方&自動採尿器のしくみと使い方」というテーマで講演会を聴講しました。
- ・戸塚区11包括でケアマネジャーと医療機関の情報交換会に実施しました。
- ・戸塚区在宅療養相談室との連携を図るため、支援の必要な地域高齢者の相談について情報提供しました。

③ ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャーから個別ケースの相談を受けて、区役所、サービス事業所、医療機関、民生委員等と担当者会議等を通じて、後方支援を行いました。
- ・ケアマネサロン名瀬を3か月に1回開催し、ケアマネジャーどうしの情報共有の場を提供し交流を図りました。また、地域のサービス事業所等を紹介し支援のサポートを行いました。
- ・区役所と共催で新人、就労予定ケアマネジャー向け研修を開催し、個別の実習、必要な情報提供等を行いました。
- ・ケアマネット戸塚に参加して、研修等に協力しました。
- ・居宅介護支援事業所からの相談ケースについて、三職種で検討し必要な情報を提供してアドバイスするとともに、同行訪問等の支援を行いました。
- ・事例検討会への出席や個別ケースでの担当者会議に出席するなど、地域のケアマネジャーの相談に応じ、必要な支援を行いました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

・第4町内会で個別地域ケア会議を開催しました。2例目の個別地域ケア会議を検討しましたが、検討の中で、「つかず離れずの見守り」ができていることが確認でき、結果的に開催に至りませんでした。

・権利擁護事業の一環として、東戸塚 CP、平戸 CP、上矢部 CP、名瀬 CP の共催にて「エンディングノート」をテーマに「ふくしものしり大学」を3回開催し、延べ150名の参加者がありました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

・要支援者の主体性・意欲を引き出し、目的指向型の介護予防ケアマネジメントを行いました。Cプランの利用について包括内で情報共有し、4件の実施ができました。うち、2年目の方は事業対象者となつての継続となりました。

・11包括共同で介護予防ケアマネジメント研修を実施し、マネジメント力の向上に努めました。

・居宅介護支援事業所へ委託したプランについては、委託事業所と連携をとり、自立支援の視点からのアドバイスとなります。

・サービス担当者会議や評価の際には、目標設定やインフォーマルサービスの活用など自立支援型のプランで生活機能の向上が図れるものになっているかチェックを行い、利用者と一緒にたてて支援しました。各種の集まりを紹介し、参加にもつながりました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

・第4町内会で名瀬ハツラツ健康講座を開催しました。元気づくりステーションに移行することが決定しました。

・3つの元気づくりステーションが安定して運営できるように区役所とともに支援しました。地域のリハビリ専門職との連携を持ち、より良いグループになるよう工夫しました。

・老人会、町内会など各種組織から依頼を受け、6回の出前講座を実施し、介護保険・介護予防などについて伝えました。福祉用具事業者の協力でクイズ方式の講座が3回できました。

・ボランティアスキルアップ講座で、地域のリハビリ専門職の協力のもと、ハマトレの講座を実施しました。

・同法人の特養太陽の國と協力し、「きらめき健康体操」前期6回・後期6回、「水中運動教室」4回を実施しました。

5 その他

--

6 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・ 専門業者による総合設備巡視点検のほかに、随時職員による目視の点検を行い、来所者が安心して利用できるよう職員一人一人が努める。設備等の故障により利用者に不便をかけないよう維持管理に努めました。
- ・ 設備の管理については、委託業者の選定に関する十分な検討と、運用に関する選定事業者との事前の綿密な打ち合わせを行うとともに、課題発生の場合随時協議し、迅速な対応を目指しました。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・ 公的な施設である地域ケアプラザの役割を認識し、適正かつ効率的な運営を行うため、適正な人員配置や適切な物品の管理、光熱水費の節約に努めました。
- ・ 予算に占める人件費に関しては、適切な人員配置を行い、業務の効率化を図るよう努めました。

(3) 苦情受付体制について

- ・ 法人の苦情解決体制に従い、苦情受付に関するわかりやすい掲示に努めます。また実際の苦情解決に関しては、担当者による迅速かつ丁寧な対応を目指しました。
- ・ 苦情解決調整委員（第三者委員）として法律、福祉、人権等の幅広い分野の方々に依頼し、解決困難な事例に関して助言を受け、円滑な解決、サービスの向上、改善に努めました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 施設、法人内ならびに行政、地域との連絡体制を整え、緊急時の対応に備えています。
- ・ 施設内事故、車両事故対応、徘徊対応、感染症予防等のマニュアルを備え、職員に対して十分な研修を行うとともに、地域に対しては分かりやすい説明、掲示に努めました。
- ・ 福祉避難場所としての役割を認識し、災害時の備蓄物資を適正に保管し、人員の確保、役割有効性が確保できるよう行政、地域と連携した体制整備を行うとともに、法人他施設との協働を図りました。

- ・「名瀬中地域防災拠点運営委員会」に参加し、相互の役割を再確認するとともに情報交換を行い、連携を図りました。
- ・防災訓練に関しては、所内防災委員会だけでなく、地域、行政、消防署等関係者との事前事後の綿密な打ち合わせを行い、工夫を凝らし現実に即した内容での実施を目指しました。
- ・地震や災害等が起きた場合、貸館利用者やデイサービス利用者の迅速な誘導と避難を行うべく訓練を行いました。避難・誘導場所の確保として、隣接する名瀬中学校と協力体制を構築しています。

(5) 事故防止への取組について

- ・法人施設での事故報告（ケース）を分析し、常勤職員会議での検証を行うと共に、非常勤職員を交えた会議において、情報、認識の共有化を図り、再発防止に向けた対応を十分検討、実施し、事故防止に努めました。
- ・情報共有に関するケースファイルや記載方法を十分検討し、実施、運用します。介護、看護面に関しては、積極的な研修を行うとともに、外部研修への参加を促し、職員の安全に関する意識、技術の向上に努めました。
- ・運転業務に関しては、職員の運転技能を実施研修等により把握すると共に、免許を要しない場合も含め、安全への意識を高めるよう努めました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・「横浜市個人情報の保護に関する条例」に基づき、個人情報の保護に努めました。職員には、個人情報保護やプライバシーの尊重に関する研修を実施し、意識啓発や体制整備を行い、個人情報の保護に努めました。
- ・地域ケアプラザ、法人のホームページを通して、法人、施設の取組について公表するとともに、利用者等に関して十分な説明を行いました。

(7) 情報公開への取組について

- ・法人および法定の情報公開の規定に従い、適切な情報公開を行いました。運営協議会および関連の集まり等、ならびに法人ホームページ、広報誌等において積極的に予算、決算、事業内容等を公表するとともに、窓口にも閲覧資料を設置し、自由に閲覧できる体制を整えました。

(8) 人権啓発への取組について

- ・区役所、区社協等と共同で行う、子育て連絡会、ふくしものしり大学、地域ケア会議、認知症サポーター養成講座等にて、子どもから高齢者世代にわたっての人権の尊重と、虐待防止についての事例検討を行い、対応方法と関連機関の連携、地域の普及啓発について検討を行いました。
- ・倫理や法令遵守についての所内研修を行い、職員の業務取り組みに対する意識啓発を行いました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・ 横浜市の推進するヨコハマ3R夢に基づき、ごみの少量化・分別化を進め、「市役所ごみゼロルート回収」に継続参加し、排出廃棄物の削減・再資源化に努めました。
- ・ 「ごみゼロ推進委員」を選出し、ごみのマニュアルを作成し、分別収集の徹底、省電力化、省資源の推進等、具体的な方策の実施に努めます。また、光熱水費削減のため、未使用の部屋の消灯や節水に関して、具体的な方策を実施するとともに、その効果をより図るため、職員の認識の共有化に努めるとともに、利用者の協力を得られるよう周知を図り、情報提供に努めました。
- ・ 東日本大震災後の影響による電力供給不足への継続対応として、節電に努めました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- ・社会福祉士職 1名
- ・主任ケアマネジャー 1名
- ・保健師職 1名
- ・介護予防プランナー 1名

《目標に対する成果等》

- ・要支援者が、可能な限り自宅においてその有する能力に応じて自立した日常生活を営むために必要な介護予防サービスが適切に利用できるよう支援します。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ありません



《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・包括職員が日頃から委託先居宅介護支援事業所と連携を図り、要支援者の心身状況を把握することにより、必要時適切な支援ができるよう努めます。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
112	113	110	112	114	122
10月	11月	12月	1月	2月	3月
115	112	115	112	112	116

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 常勤兼務職員 1 名(管理者と兼務)
- ・ 常勤専従職員 3 名

《目標に対する成果等》

研修の充実

- ・ 各人にあった研修やケアマネットに 17 回参加し、研修参加後は事業所内で情報共有した。
- ・ 医療分野との連携では、在宅にスムーズに戻れるように入院時の情報提供や退院前カンファへの参加など医療との連携を積極的に図った。
- ・ 特定事業所加算を取得している事業所として、介護支援専門員実務研修における実習生の受け入れを行い、育成に貢献した。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ありません

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ ケアプラザ内の居宅介護支援事業所として、地域包括支援センターと連携を取りながら適切な業務遂行をしていきます。
- ・ 当事業所は特定事業所加算Ⅱを取得しており、24 時間の電話連絡体制を整えております。各ケアマネが携帯を持ち、ご利用者、事業所との連絡調整を迅速に行います。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
136.5	142.5	140	137.5	145.5	145
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
140	138.5	134.5	131.5	131.5	131

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - (要介護1) 円
 - (要介護2) 円
 - (要介護3) 円
 - (要介護4) 円
 - (要介護5) 円
- 食費負担 円

-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : (半角で入力 例 9:00~15:00)

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護 **対象外**

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 （事業対象者） 円
 （要支援1） 円
 （要支援2） 円
- 食費負担 円
-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

平成29年度「横浜市名瀬地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
指定管理料	17,772,024	131,608	17,640,416	17,640,416	0	横浜市より	
利用料金収入						0	
指定管理料充当 事業	0		0	362,600	362,600	事業費	
自主事業収入						0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	39,765	39,765		
印刷代	0		0	26,265	26,265	印刷代	
自動販売機手数料	0		0	0	0	自動販売機手数料	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	駐車場利用	
その他(指定管理料充当)	0		0	13,500	13,500	その他	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0		
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0		
収入合計	17,772,024	131,608	17,640,416	18,042,781	402,365		

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
人件費	9,661,000	0	9,661,000	12,521,519	2,860,519		
本俸	7,500,000		7,500,000	6,996,325	503,675	本俸	
社会保険料	785,000		785,000	986,610	201,610	社会保険料	
手当計	996,000		996,000	4,157,464	3,161,464	手当	
健康診断費	180,000		180,000	148,860	31,140	健康診断	
勤労者福祉共済掛金	0		0	106,650	106,650	横浜市社会福祉協議会	
退職給付引当金繰入額	150,000		150,000	125,610	24,390	退職給付引当金繰入	
その他	50,000		50,000	0	50,000	その他	
事務費	2,674,286	0	2,674,286	2,340,134	334,152		
旅費	200,000		200,000	202,346	2,346	往輪場代・交通費等	
消耗品費	750,000		750,000	517,565	232,435	コピー用紙等	
会議開費	60,000		60,000	84,791	24,791	交歓会等	
印刷製本費	130,000		130,000	85,939	44,061	ケアプラザだより等	
通信費	300,000		300,000	313,275	13,275	電話・切手等	
使用料及び賃借料	0	0	0	19,200	19,200		
横浜市への支払分	0		0	19,200	19,200	自動販売機手数料	
その他	0		0	0	0	その他	
備品購入費	300,000		300,000	541,364	241,364	ハンフレットスタンド・冷蔵庫他	
図書購入費	200,000		200,000	114,019	85,981	本	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	9,230	770	賠償保険	
職員等研修費	50,000		50,000	8,656	41,344	研修関係	
振込手数料	10,000		10,000	6,598	3,402	振込手数料	
リース料	90,000		90,000	99,878	9,878	リソグラフ・AED他	
手数料	20,000		20,000	0	20,000	手数料	
地域協力費	0		0	0	0	その他	
その他	554,286		554,286	337,273	217,013	車両・火災保険・回線工事他	
事業費	1,286,572	0	1,286,572	948,483	338,089		
運営協議会経費	42,000		42,000	35,340	6,660	予算:指定額	
指定管理料充当 事業	1,244,572		1,244,572	913,143	331,429	事業費	
管理費	3,377,286	0	3,377,286	2,949,414	427,872		
建築物・建築設備点検	157,000		157,000	132,995	24,005	予算:指定額	
光熱水費	1,000,000	0	1,000,000	1,138,776	138,776	水道光熱費	
電気料金	500,000		500,000	526,582	26,582		
ガス料金	250,000		250,000	334,308	84,308		
水道料金	250,000		250,000	277,886	27,886		
清掃費	705,249		705,249	781,653	76,404	日常清掃他	
修繕費	474,000	0	474,000	366,397	107,603	予算:指定額	
機械整備費	100,000		100,000	76,453	23,547	施設整備	
設備保全費	452,104	0	452,104	416,506	35,598		
空調衛生設備保守	150,000		150,000	229,354	79,354	メンテナンス保守・設備管理	
消防設備保守	100,000		100,000	0	100,000	消防設備保守	
電気設備保守	0		0	181,576	181,576	エレベーター保守・自動扉定期保守	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	0	50,000	害虫駆除保守	
駐車場設備保全費	50,000		50,000	5,576	44,424	駐車場保守	
その他保全費	102,104		102,104	0	102,104	その他	
共益費	0		0	0	0	共益費	
その他	488,933		488,933	36,634	452,299	強剪定	
公租公課	772,880	0	772,880	1,001,721	228,841		
事業所税						0	この列は入力しない
消費税	772,880		772,880	1,001,721	228,841	消費税	
印紙税						0	この列は入力しない
その他()						0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分						0	この列は入力しない
当該施設分						0	この列は入力しない
二一ス対応費						0	この列は入力しない
支出合計	17,772,024	0	17,772,024	19,761,271	1,989,247		
差引	0	131,608	131,608	1,718,490	1,586,882		

自主事業費収入	1,244,572		1,244,572	0	1,244,572	予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	1,244,572		1,244,572	913,143	331,429	
自主事業収支	0	0	0	913,143	913,143	自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	24,776	24,776	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	24,776	24,776	

**平成29年度「横浜市名瀬地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,141,716	162,253	22,979,463	22,979,463	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	146,040		146,040	146,040	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	795,456	6,584,456	6,584,456	0	横浜市より
利用料金収入			0			この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	9,400	9,400	事業費
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	事業費
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	事業費
自主事業収入			0			この列は入力しない
雑入	0	0	0	47,753	47,753	
印刷代	0		0	0	0	印刷代
自動販売機手数料	0		0	0	0	自動販売機手数料
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	駐車場利用料
その他(指定管理充当)	0		0	47,753	47,753	その他
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	29,076,756	633,203	29,709,959	29,767,112	57,153	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	24,881,000	0	24,881,000	30,223,092	5,342,092	
本俸	15,850,000		15,850,000	14,583,800	1,266,200	本俸
社会保険料	2,800,000		2,800,000	3,676,297	876,297	社会保険料
手当計	5,000,000		5,000,000	10,275,715	5,275,715	手当
健康診断費	84,000		84,000	128,050	44,050	健康診断
勤労者福祉共済掛金	0		0	343,125	343,125	横浜市社会福祉協議会
退職給付引当金繰入額	567,000		567,000	1,216,105	649,105	退職給付引当金繰入額
その他	580,000		580,000	0	580,000	その他
事務費	1,542,858	0	1,542,858	1,707,739	164,881	
旅費	250,000		250,000	246,412	3,588	駐輪場代・交通費等
消耗品費	100,000		100,000	240,845	140,845	コピー用紙等
会議諸費	2,000		2,000	12,900	10,900	地域参加費
印刷製本費	55,000		55,000	0	55,000	印刷製本代
通信費	350,000		350,000	319,460	30,540	電話・切手等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000	18,870	81,130	PC
図書購入費	50,000		50,000	0	50,000	図書
施設賠償責任保険	10,000		10,000	0	10,000	施設賠償保険
職員等研修費	50,000		50,000	9,298	40,702	研修交通費等
振込手数料	10,000		10,000	0	10,000	振込手数料
リース料	15,552		15,552	0	15,552	リース料
手数料	40,000		40,000	32,550	7,450	ケアマネ更新手数料・介護支援専門員他
地域協力費	30,000		30,000	0	30,000	地域協力
その他	480,306		480,306	827,404	347,098	ケアマネット参加費・ボランティア保険他
事業費	1,753,612	0	1,753,612	1,027,247	726,365	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算・指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	668,572		668,572	73,625	594,947	事業費
指定管理料充当自主事業(介護予防)	146,040		146,040	151,354	5,314	予算・指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	298,268	10,732	予算・指定額
管理費	856,286	0	1,643,086	784,013	859,073	
建築物・建築設備点検	43,000		43,000	35,353	7,647	予算・指定額
光熱水費	1,000,000	0	1,000,000	302,712	697,288	水道光熱費
電気料金	126,000		500,000	139,976	360,024	
ガス料金	67,200		250,000	88,867	161,133	
水道料金	63,000		250,000	73,869	176,131	
清掃費	187,470		187,470	207,780	20,310	日常清掃他
修繕費	126,000		126,000	97,394	28,606	予算・指定額
機械警備費	50,322		50,322	20,322	30,000	施設警備
設備保全費	125,235	0	125,235	110,714	14,521	
空調衛生設備保守	25,614		25,614	60,967	35,353	メンテナンス保守・設備管理
消防設備保守	21,000		21,000	0	21,000	消防設備保守
電気設備保守	0		0	48,266	48,266	エレベーター保守・自動扉定期保守
害虫駆除清掃保守	11,219		11,219	0	11,219	害虫駆除保守
駐車場設備保全費	8,400		8,400	1,481	6,919	駐輪場保守
その他保全費	59,002		59,002	0	59,002	その他
共益費	0		0	0	0	共益費
その他	111,059		111,059	9,738	101,321	足ふきマット・強剪定
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他()			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当施設設分			0		0	
二重対応費			0		0	
支出合計	29,033,756	0	29,820,556	33,742,091	3,921,535	
差引	43,000	633,203	110,597	3,974,979	3,864,382	

自主事業費収入	1,123,612			9,400		予算・指定管理料に含む
自主事業費支出	1,123,612			523,247		
自主事業収支	0			513,847		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			1,481		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			1,481		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市名瀬地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
収入	介護保険収入	3218961	27026504	104995	2923
	その他	3267330	944052	840	0
	介護予防ケアマネジメント費	3267330	944052	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0
		0	0	0	0
		0	0	0	0
		0	0	0	0
	その他	0	0	840	0
	収入合計(A)	6486291	27970556	105835	2923
支出	人件費	5733385	17372060	74052	148
	事務費	331997	1050128	6747	13
	事業費	0	0	15643	31
	管理費	163296	0	974	0
	その他	3103492	0	538	0
	利用者負担軽減額	3103492	0	0	0
	消費税	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	0	0	0	0
		0	0	0	0
	その他	0	0	538	0
	支出合計(B)	9332170	18422188	97954	192
	収支 (A) - (B)	-2845879	9548368	7881	2731

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
「認知症になっても住みやすい町にするためには」IN名瀬第一町内会（協議体）	高齢者	18,488	地活	0					
	79人		包括	0					
	なし		生活	18,488	0	0	0	0	18,488
「桜カフェひとやすみ」（認知症カフェ）	認知症高齢者とその家	11,778	地活	0					
	154人		包括	0					
	100円		生活	11,778	0	0	0	0	11,778
「かいぞう広場」	高齢者・子ども	96,059	地活	0					
	37人		包括	0					
	なし		生活	96,059	0	0	0	0	96,059
ボランティアスキルアップ講座	高齢者	8,202	地活	0					
	51人		包括	0					
	なし		生活	8,202	0	0	0	0	8,202
「超高齢者社会を楽しく過ごす会」講演会	高齢者	0	地活	0					
	22人		包括	0					
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
おやじ達のたまり場～思い出坂～	高齢者（男性）	53,951	地活	5,381					
	50人		包括	0					
	200円		生活	41,370	7,200	0	0	0	53,951
アートギャラリー	地域の方	0	地活	0					
	66人		包括	0					
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
小さな困りごとボランティア	地域の方	0	地活	0					
	55人		包括	0					
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
ママサロン	未就園児親子	0	地活	0					
	164人		包括	0					
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
おやこヨガ教室	未就園児親子	133,644	地活	96,744					
	270人		包括	0					
	300円		生活	0	36,900	0	133,644	0	0
リトミックバンビ	未就園児親子	115,885	地活	63,685					
	424人		包括	0					
	300円		生活	0	52,200	0	115,885	0	0
歌声セルフ喫茶	地域の方	280,000	地活	118,800					
	861人		包括	0					
	200円		生活	0	161,200	0	280,000	0	0

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
みつこのカラオケ120%	地域の方	120,000	地活	50,400					
	378人		包括	0					
	200円		生活	0	69,600	0	120,000	0	0
手作りおやつで楽しく食育	未就園児親子	0	地活	0					
	33人		包括	0					
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
リトミッククリスマス会	未就園児親子	7,944	地活	2,844					
	39人		包括	0					
	300円		生活	0	5,100	0	7,944	0	0
文化教室	小学生と大人	30,274	地活	30,274					
	55人		包括	0					
	なし		生活	0	0	0	0	30,274	0
シネマカフェ	地域の方	66,852	地活	47,252					
	108人		包括	0					
	200円		生活	0	19,600	0	0	66,852	0
リズム体操	高齢者	22,274	地活	11,474					
	42人		包括	0					
	300円		生活	0	10,800		22,274	0	0
クリスマス・お正月装飾大作戦	地域の方	101,086	地活	101,086					
	0		包括	0					
	なし		生活	0	0	0	0	0	101,086
クリスマスコンサート	地域の方	0	地活	0					
	112人		包括	0					
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
能楽イベント	地域の方	8,000	地活	8,000					
	59人		包括	0					
	なし		生活	0	0	0	8,000	0	0
貸館利用団体交流会	貸館利用団体	14,603	地活	14,603					
	34人		包括	0					
	なし		生活	0	0	0	0	0	14,603
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	高齢者	0	地活	0					
	31人		包括	0					
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
あったまり場講演会	地域の方	0	地活	0					
	10人		包括	0					
	なし		生活	0	0	0	0	0	0

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
お困りと相談室	地域の方	0	地活	0					
	13人		包括	0					
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
介護者のつどい	地域の方	58,989	地活	0					
	92人		包括	58,989					
	なし		生活	0	9,000	0	0	0	58,989
ケアマネサロン	地域のケアマネ	4,780	地活	0					
	52人		包括	4,780					
	なし		生活	0	0	0	0	0	4,780
ふくしものしり大学	地域の方	8,195	地活	0					
	113人		包括	8,195					
	なし		生活	0	0	0	0	0	8,195
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業報告書

横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
「認知症になっても住みやすい名瀬町にするためには」 IN 名瀬第一町内会（協議体）	<p>目的：高齢者一人ひとりが、認知症になってもその人らしく暮らし続けられるために、多様な担い手が連携・協力する地域づくりを目指す。</p> <p>平成28年度「認知症になっても住みやすい名瀬町にするためには」をテーマに開催した地域ケア会議で抽出された地域住民からの意見を受けたオープンな地域づくりの後方支援。</p> <p>内容：「認知症サポーター養成講座」を開催。目指す地域像を共有。地域でできることについて話し合いを重ねた結果、新たな取り組みとして世代を超えて顔の見える関係づくりのきっかけの場として、地域住民主体の多世代交流イベント「かいぞう広場」の毎月開催が決定。</p>	<p>6月、7月、9月、11月、</p> <p>: 4回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「桜カフェひとやすみ」（認知症カフェ）	<p>目的：認知症高齢者やその家族が、地域で安心して過ごすことができ、地域住民と交流を持ちながら、必要時には専門的な相談につなぐことができる身近な場を地域につくる。</p> <p>毎月第2火曜日に名瀬町にある妙法寺で開催される地域住民主体の認知症カフェ開催の後方支援。</p> <p>内容：地域ボランティアによるレクリエーションや歌、おしゃべり等のほか、マジック、音楽イベント等。参加者は、家族、民生委員、友人など10～15人。ケアプラザ職員は、事前打ち合わせ、企画、当日の運営、認知症高齢者への参加の呼びかけ、チラシ配布の広報など。</p>	<p>6月～3月まで、毎月実施</p> <p>: 10回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「かいぞう広場」	<p>目的：今年度開催した「認知症になっても住みやすい名瀬町にするためには IN 名瀬第一町内会」（協議体）から立ち上がった新しい取り組み多世代交流イベントへの後方支援。高齢者、子ども、大人、若者が世代を超えて交流し、支え合い・分かち合える地域、高齢者が認知症になっても安心・安全に暮らせる地域社会の実現を目指す。</p> <p>内容：毎月第4日曜日、9時～12時まで、名瀬第一町内会館を開放し、出入り自由に昔遊びやゲーム、おしゃべりなど。今年度は、プレ開催として1月、2月に開催。ケアプラザでは、遊び道具の貸し出し、地域への広報、チラシ配布、当日参加。また、助成金等について情報提供した。</p>	<p>1月、2月：2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティアスキルアップ講座	<p>目的：既存のボランティア連絡会と共催で研修会を開催し、地域のボランティアのスキルアップ講座を目指す。</p> <p>内容：腰痛・膝痛予防とハマトレ講習を地域のリハ職の協力を得て実施した。ハマトレのDVDを教材として配布した。また、生活支援体制整備事業の目的・目指す地域像、生活支援コーディネーターの役割を周知した。</p>	<p>11月：2回</p>

平成29年度 自主事業報告書

横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
「超高齢者社会を楽しく過ごす会」	目的：東戸塚ケアプラザで結成された団体の講演会で近隣4ケアプラザ（東戸塚・上矢部・平戸・名瀬）で、生活支援コーディネーター業務について説明・周知する。 内容：ケアプラザでの実践事例をパワーポイントで紹介し、今、地域でできることについて、地域のコアメンバーの方々と一緒に考えた。	3月：1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやじ達のたまり場 ～思い出坂～	目的：地域の男性が集まる場をつくり、交流や活動のきっかけをつくる。 内容：レコード鑑賞、コーヒーを媒体にして男性が集まれる場をつくり、談笑や交流を行った。	1月、2月、3月 ：3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アートギャラリー	目的：地域の方の作品を展示し来館者に披露する場とする。 内容：玄関前スペースに、毎月地域の方の作品を展示した。	通年・11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小さな困りごとボランティア	目的：小さな困りごとをボランティア団体（サポート隊名瀬）が手助けをし、地域で支える活動を行う。 内容：毎月第3水曜日に定例会を行い、事務局として小さな困りごとの依頼を調整し、情報の共有を行った。	通年：11回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ママサロン	目的：子育て中の親子が集まり、情報交換の場やコミュニケーションを行う場とする。 内容：子育て中の親子のフリースペースとして、開放した。	通年：24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやこヨガ教室	目的：親子のスキンシップと、親のリフレッシュの機会とする。 内容：0歳～未就園児親子（父親含む）のヨガを行った。	通年：12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リトミック・バンビ	目的：親子、他親子と交流し、コミュニケーションや動作等を学ぶ機会とする。 内容：1歳～未就園児親子が音楽に合わせて親子でのスキンシップを楽しみ、体を動かした。	通年：11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声セルフ喫茶	目的：音楽を通じた交流と、健康増進、引きこもり予防。 内容：プロのミュージシャンのリードに合わせて、歌謡曲や唱歌を全員で歌った。	通年：14回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みつこのカラオケ120%	目的：健康増進と、参加者同士のコミュニケーションの場を設ける。 内容：プロのミュージシャンから、課題曲を通じて発声や歌い方等を学んだ。	通年：12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手作りおやつで楽しく食育	目的：食の安全性や選び方、組み合わせを子育て世代の方に教える機会を作る。 内容：食育、生活のリズムについての講和と、おやつ作り。	10月：1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リトミッククリスマス会	目的：地域の子育て中の親子が、クリスマス行事を通じて交流を図る機会を作る。 内容：クリスマスにちなんだ歌、手遊び、サンタが登場し、子ども同士の交流を行った。	12月：1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
文化教室	目的：工作を通じた多世代間交流。 内容：青少年指導員と共催し、工作（手作りキャンドル制作）を行った。	11月：1回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シネマカフェ	目的：ケアプラザに来館する機会を設けるとともに、ボランティアとして活動できる場を設ける。 内容：映画上映と、ボランティアが入れたコーヒーを参加者にふるまった。	7月、3月：2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リズム体操	目的：音楽やリズムに合わせた体操により、普段使用していない筋肉の強化と体作りを行う。 内容：リズムに合わせた体操を行った。	9月、2月：2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマス・お正月装飾大作戦	目的：クリスマス、お正月の装飾と雰囲気作りを通して子育て世代から高齢者まで、地域の方に季節を感じて頂くと共に、楽しみにケアプラザに来館してもらう機会をつくる。 内容：ケアプラザエントランス、玄関前を装飾して、季節感を出した。	12月、1月：1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスコンサート	目的：コンサートを通じて、地域の方が来館する機会をつくり、リフレッシュと交流する機会を設ける。 内容：ボランティアのビッグバンドグループによる演奏会を行った。	12月：1回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
能楽イベント	目的：能楽を通して地域の方の娯楽と交流の場とし、ケアプラザに来館してもらう機会をつくる。 内容：能楽師による説明、実演、実技体験を行った。	7月：1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館利用団体交流会	目的：ケアプラザの貸館利用団体同士の交流と、活動の活性化を図るための機会とする。 内容：貸館利用団体同士の交流と情報交換を図るとともに、貸館利用方法の再確認を行った。	1月：1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	目的：65歳以上の元気な高齢者のための生きがい、介護予防につながるボランティア活動のきっかけづくり。 内容：ケアプラザ職員が講師となり、ボランティア活動についての講義を行った。	2月：1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あったまり場講演会	目的：精神障害への理解を深める為、関係機関と連携し地域の方への啓発をする。 内容：精神障害者の活動に繋がる理解を深めるための講演会を行った。	3月：1回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お困りごと相談室	目的：障害児者に関する相談窓口を設けて、地域の方への相談と、専門機関との連携を持つ。 内容：障害児者に関する当事者、家族、支援者に対しての地域対象の相談出張窓口を設けた。	12月：1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	目的：介護者同士で集う場を提供し、気分転換や介護負担の軽減が図られるように情報交換を行う。 内容：季節に合わせて、お花見やレコード鑑賞等を企画、実施した。	月1回：11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン	目的：エリア居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)を対象に情報交換やインフォーマルサービスを含めた地域情報の提供、事例検討会などの勉強会、研修会 内容：医療との連携に力を入れた話し合いを重ねた。	7月・9月・12月 ：3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふくしもの知り大学	目的：「エンディングノート」目的や有効性について周知する。 内容：東戸塚地域ケアプラザ・上矢部地域ケアプラザ・平戸地域ケアプラザと共催して、「エンディングノート」をテーマに講演を2回開催し、地域のボランティアの寸劇と行政書士の解説した。	10月・11月・12月：3回